

平成 30 年度事業報告書

社会福祉法人 柏原市社会福祉協議会

◀ 目次 ▶

平成 30 年度 柏原市社会福祉協議会事業報告 P1

1 法人組織運営

(1) 理事会・評議員会等の運営 P2～3
(2) 自主財源の確保 P3
(3) 柏原市立老人福祉センター（指定管理）の運営 P3～4
(4) 広報啓発活動 P4
(5) 共同募金運動 P4～5
(6) 災害対策の強化 P5
(7) 安全衛生委員会の運営 P5
(8) 人権研修の実施 P5
(9) 社会福祉士の実習 P5
(10) 短期インターンシップ P6

2 地域福祉活動推進

(1) コミュニティーソーシャルワーカー（CSW）配置促進事業の推進 . . . P6～8
(2) 小地域ネットワークの推進 P8～9
(3) ボランティア・市民活動センター事業の推進 P9～11
(4) 日常生活自立支援事業の推進 P11
(5) 生活困窮者自立支援事業 P12
(6) ファミリーサポート事業の体制強化 P12～13
(7) ほのぼのかたしも運営支援 P13～14
(8) 大阪府生活福祉資金貸付事業 P14
(9) 柏原市民生・児童委員協議会事務局の運営 P14
(10) 柏原市民間社会福祉施設連絡会（地域貢献委員会） P14～15
(11) 第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画 中間評価の実施 P15
(12) 要援護者食料等分配支援事業の協力機関との連携 P15
(13) 市制 60 周年第 30 回「柏原ふれあい広場」の開催 P15
(14) 柏原市障害者基幹相談支援センター（ピアセンターかしわら） . . . P15～17

3 地域包括支援センター（高齢者いきいき元気センター）

(1) 総合相談支援の充実 P17
(2) 権利擁護事業 P17～18
(3) 継続的、包括的マネジメント P18～19
(4) 介護予防ケアマネジメントの実施 P19～20
(5) 認知症高齢者への地域支援の推進 P20
(6) 認知症地域支援推進員配置事業 P20
(7) 家族介護支援事業 P20
(8) 介護用品（おむつ）支給事業 P20～21
(9) 生活支援体制整備事業 P21

4 介護予防事業

(1) 地域リハビリテーション活動支援の推進 P21

(2) 地域介護予防活動支援の充実	・ ・ ・ ・ ・	P21～22
5 高齢者支援事業		
(1) 老人クラブ連合会活動支援	・ ・ ・ ・ ・	P22～23
(2) 在宅高齢者・障がい者給食サービス	・ ・ ・ ・ ・	P23
6 介護保険等事業		
(1) 居宅介護支援事業所ケアプランかしわら	・ ・ ・ ・ ・	P23～24
(2) 居宅介護支援事業所ケアプランこくぶ	・ ・ ・ ・ ・	P24～25
(3) 訪問看護ステーションかしわら	・ ・ ・ ・ ・	P25～26
(4) ヘルパーステーションかしわら	・ ・ ・ ・ ・	P26～28
(5) ヘルパーステーションこくぶ	・ ・ ・ ・ ・	P28～29
7 障がい者支援・福祉サービス事業（自立支援センター）		
(1) 肢体不自由児訓練事業	・ ・ ・ ・ ・	P29
(2) 柏原市療育教室	・ ・ ・ ・ ・	P29
(3) 障害福祉サービスわくわく（生活介護）	・ ・ ・ ・ ・	P30
(4) 障害福祉サービスわくわく（就労継続支援B型）	・ ・ ・ ・ ・	P30
(5) 障害福祉サービスわくわく（児童発達支援）	・ ・ ・ ・ ・	P30

平成 30 年度 柏原市社会福祉協議会事業報告

平成 30 年度を振り返ると、大阪北部地震、西日本豪雨災害と、柏原の地でも決して他人事ではないことを改めて実感した年でもありました。

そのような中、職員やボランティアの被災地派遣をはじめ、関西福祉科学大学の避難所支援員養成講座へ協力参加し、災害時における社協の役割を自助・互助・共助の視点で伝え市内における災害対策の連携を図りました。

相談機能の体制強化として再編され受託した「柏原市障害者基幹相談支援センター」は、福祉サービスの援助等、あらゆる相談を受ける体制を充実させました。

ボランティア・市民活動センターが窓口となる「くらしのサポートサービス」は依頼相談も増え、現状について地域への発信を繰り返した結果、協力会員数の増加を得ることができました。

支援をしようとするひとの発掘や新たな福祉の理解者や担い手づくりのために、社協フェイスブックやボランティア・市民活動センターの LINE アカウントの新設等、情報の発信力や工夫も行いました。

自主財源の確保については介護保険、障害福祉サービス事業の安定した経営を図るため「介護・障害福祉サービス事業のあり方検討委員会」により経営的視点による内部・外部環境の把握の論議していただき、今後の事業方針を検討しました。

実施した事業について報告いたします。

1 法人組織運営

(1) 理事会・評議員会等の運営

《理事会の開催状況》		
開催年月日	場所	審議内容
5月23日	健康福祉センター	1 平成29年度事業報告 2 平成29年度決算報告 3 特別賛助会員新規会員入会 4 有料広告の掲載 5 善意銀行・福祉基金預託状況 6 平成30年度第1回評議員会開催
7月17日	(書面承認)	7 定款変更 8 平成30年度第2回評議員会開催
10月31日	健康福祉センター	9 定款変更 10 職員給与規程の変更 11 介護保険事業運営積立資産取崩し 12 特別賛助会員新規会員入会 13 善意銀行払出し
平成31年3月15日	健康福祉センター	14 平成30年度補正予算 15 職員給与規程の変更 16 職員給与における管理職員手当・管理者手当 17 生活支援体制整備事業、地域リハビリテーション活動支援事業受託終了 18 定款変更 19 経理規程会計区分の変更 20 平成31年度事業計画 21 平成31年度予算 22 重要な人事案件 23 評議員選任解任委員の解任及び選任 24 善意銀行払出し

《評議員会の開催状況》		
開催年月日	場所	審議内容
6月13日	健康福祉センター	1 平成29年度事業報告 2 平成29年度決算報告
7月23日	(書面承認)	3 定款変更
平成31年3月29日	健康福祉センター	4 平成30年度補正予算 5 定款変更 6 平成31年度事業計画 7 平成31年度予算

《監事監査の開催状況》		
開催年月日	場所	監査内容
5月14日	健康福祉センター	決算監査
* 評議員選任・解任委員会の開催：なし		

《苦情対応》	
第三者委員の活動状況《苦情対応実績》	
相談件数	31件
社協への申立後の対応	0件
第三者委員への直接の申立による対応	0件
福祉サービス苦情解決相談員設置事業	
相談件数	21件

(2) 自主財源の確保

① 善意銀行

善意銀行は、市民からの善意の預託を受ける窓口。金員、物品とも指定された施設、団体に払い出した。

○預託等の状況

預託	金額	払い出し	金額
前年度繰越金	0円	柏原市社会福祉協議会	1,284,607円
預託金品	1,342,605円	柏原市社会福祉協議会（払出予定）	58,000円
利息	2円		
合計	1,342,607円	合計	1,342,607円
次年度繰越金			0円

② 福祉基金

地域に根ざした在宅福祉サービス事業、ボランティア事業を展開し、地域福祉の増進に寄与することを目的に基金を設置し、その果実を運用した。

基金設置日 昭和60年12月6日 前年度末基金積立額 322,275,971円
本年度末基金積立額 322,275,971円

寄付金及び基金果実	金額	払い出し	金額
本年度受付寄付金	0円	基金積立	0円
基金果実	4,700,000円	法人	4,700,000円
(内国債購入時差額前払金)	38,650円		
合計	4,700,000円	合計	4,700,000円

③ 会員会費

種類	件数	金額
組織構成会費（正会員）	33件	846,000円
特別賛助会費	83件	546,000円
住民賛助会費	19,014件	9,053,300円
合計		10,445,300円

④ 有料広告掲載事業

社協の広告媒体に民間企業等の広告を有料掲載し、社協の新たな財源確保とともに地域経済の活性化と市民サービスの向上を図ることを目的として実施した。

社協かしわら……広告2回（阪南システムマシン株式会社2回）
ホームページ……広告10回（株式会社アドバンスドテクノロジー10回）

(3) 柏原市立老人福祉センター（指定管理）の運営

センター利用状況

月	開所日	利用者数(人)	日平均(人)
4	24	3,678	153
5	24	3,559	148
6	24	3,532	147
7	25	3,363	134
8	25	3,408	136
9	23	2,994	136
10	26	3,895	149
11	24	3,526	146
12	23	3,102	134
1	23	3,361	146
2	23	3,270	142
3	25	3,463	129
合計	289	41,151	

○リサイクル資源の回収協力福祉施設

- ・段ボール回収……柏原子ども教室☆い・ち・み☆
- ・アルミ缶回収……夢工房くるみ

○実習生受け入れ……11名

(4) 広報啓発活動

○社協かしわら発行(年2回 全戸配布)

○ホームページの更新

○フェイスブック……更新 104回 フォロワー数 228名

(5) 共同募金運動

実施者 柏原地区共同募金会

期間 10月1日～12月31日

協力 柏原市区長会、柏原市民生・児童委員協議会、柏原市ボランティア連絡会、柏原市内小中学校他

○共同募金

実績額	
街頭募金	241,118円
法人募金	808,772円
戸別募金	3,356,440円
職域募金	260,390円
学校募金	163,201円
バッジ募金	477,000円
その他	195,365円
合計	5,502,286円

○歳末助け合い募金

協力 ボーイスカウト柏原第1団及び第3団、
大阪東部ヤクルト販売株式会社

期間 12月1日～12月31日

実績額 合計 50,000円

配分先 柏原市社会福祉協議会

○赤い羽根共同募金協力型自動販売機設置

- 場 所 ほのぼのかたしも（平野1-12-1） 1台
- 赤い羽根共同募金365日募金箱設置
- 場 所 柏原市社会福祉協議会（大県4-15-35）、柏原市老人福祉センター（旭ヶ丘1-9-30）、柏原市自立支援センター（本郷3-9-62）、宮脇書店（堂島町2-20）

（6）災害対策の強化

①災害担当チームによる活動

災害対応マニュアルの見直しに向け情報収集を実施した。柏原市政策推進部危機管理課・他市町村社協との連絡・連携体制づくりに取り組んだ。2018年度HEARTプロジェクト避難所支援員養成講座（実務者編）開催に協力した。

②災害による職員派遣

- 「平成30年大阪北部地震」災害ボランティアセンターへの派遣協力
 大阪府下災害ボランティアセンター運営支援者 1名派遣 7/9～ 8日間
 運営応援職員 のべ16名派遣 12日間
- 「平成30年7月豪雨災害」災害ボランティアセンターへの支援
 倉敷市社協災害ボランティアセンター運営応援派遣 2名派遣 8/23～5日間
 9/4～5日間
- 河南ブロック市町村社協連絡会被災地支援（ボランティアバス）
 柏原市民4名の参加調整支援 8/8 1日間

③柏原市福祉・防災マップづくりプロジェクトに参加

柏原ライオンズクラブ・関西福祉科学大学の共催事業の後援機関として協力を継続した。

- 「近鉄道明寺駅・河内国分駅・大阪教育大前駅」完成、配布協力
- 柏原市マップ贈呈式：柏原市災害ボランティアコーディネーター会と共に出席
- 事務局会議：4回参加

（7）安全衛生委員会の運営

労働者の危険または健康障害を防止するために、安全衛生委員会を設置し労働災害の予防再発防止対策等を定期的に審議した。

- 委員会の開催 月1回 定期開催
- 産業医の変更 平成31年2月1日付で藤江博医師に委託

（8）人権研修の実施

職員の人権に対する啓発意識を高めるために研修会の実施や市の研修会に参加した。

- 社内研修内容 「セクハラ・パワハラ研修」
- 参加人数 66名

（9）社会福祉士の実習

①社会福祉士実習受け入れ

社会福祉士有資格者数：17名（実習指導者研修修了者9名）

②実習受入実績

- 相談援助実習 4大学1専門学校 8名（1人あたり180時間）

(10) 短期インターンシップ

短期インターンシップの受け入れを行った。

・受入実績 4大学 6名 (1人あたり1~5日間)

2 地域福祉活動推進

(1) コミュニティーソーシャルワーカー (CSW) 配置促進事業の推進

地域における高齢者・障がい者・ひとり親家庭・ひきこもりの方・生活に困窮している方など、援護を必要とするあらゆる方々からの相談対応や見守り等を行った。

○柏原市いきいきネット相談支援センター (CSW の担当箇所)

健康福祉センター 3階	柏原市立自立支援センター	ふれあいステーション
-------------	--------------	------------

○出張相談会

オガタ通り「ふれあい館オガタ」	日時：第4金曜日 14時~16時
ふれあいステーション	日時：水曜日を除く毎日 10時~19時 (平成31年1月より 18時30分)

①相談支援実績

【対象者別】

相談対象者	相談者延人数(名)	相談者数	新規相談件数
高齢者	203	150	54
(うち)一人 ぐらし	153	114	38
(うち)高齢 者のみ	50	36	16
障がい者	358	119	20
(う ち)身体	15	8	3
(う ち)知的	110	31	2
(う ち)精神	233	80	15
子育て中の親子	25	22	4
ひとり親家庭の親子	37	28	4
青少年	13	7	2
外国人(中国帰国者含む)	1	1	0
その他	55	36	20
合計	692	363	104

【内容別】

相談内容	のべ件数	相談者数
福祉制度・サービスに関する相談	68	15

生活に関する身近な相談	232	151
健康・医療に関する相談	56	39
生活費に関する相談	65	30
就労に関する相談	16	11
財産管理・権利擁護に関する相談	16	5
DV・虐待に関する相談	2	2
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	20	14
住宅に関する相談	22	4
子育て・子どもの教育に関する相談	17	16
その他	103	49
合 計	617	372

(相談内容は重複あり)

②生活困窮者自立支援事業・その他の機関との連携

柏原市生活困窮者支援会議に月2回出席し、生活困窮だけでなく複合的課題を抱える方の情報を共有し、それぞれの専門支援機関や就労支援員等、多機関・多職種連携を行い支援した。また、不登校児童への支援は家庭児童相談室・子ども家庭センター・スクールソーシャルワーカー（SSW）との連携を深め支援した。

③事例検討会の実施

大阪教育大学の新崎教授をスーパーバイザーに迎え、他部署の相談職も含めた事例検討会を実施し、CSWのコーディネーター機能向上に努めた。

開催年月日	内容	参加者
5月14日	事例検討会（事前学習会） 「包括的支援体制の構築に向けて（連携推進モデル）」 「社協の職員であるということ～社協の統合性を活かした多職種連携と地域協働の今日的意義を学ぶ～」講師：新崎 国広 氏	28名
7月9日	事例検討会 「CSW ケース 近隣トラブルが絶えない方への支援」	16名
9月10日	事例検討会 「包括支援センターケース 近隣への苦情を訴える方の支援」	17名
11月29日	事例検討会 「障がいケース 障がい名と、実際の障がいが違うケースの支援」	9名
平成31年1月17日	事例検討会 「障がいケース 事業利用者とその家族への支援」	9名
平成31年3月15日	事例検討会	7名

	「困窮ケース 地域から排除された世帯への支援について」	
--	-----------------------------	--

④広報啓発活動

○関係機関へCSWのチラシを配布し、PRを行った。

⑤行方不明者早期発見ネットワーク事業「さがしてねっと」

認知症高齢者・障がい者・児童で、徘徊により生命の危険や健康を損なうおそれのある方に事前登録していただき、行方不明者が発生すれば「お見かけ協力員」として個人登録された方に情報発信を行い行方不明者の早期発見・安全確保を地域ぐるみで行う事業を継続した。

事前登録新規登録者	1名	(登録者数計 10名)
お見かけ協力員新規登録者数	0名	(登録者数計 70名)
平成30年度の情報発信発動件数	0件	

(2) 小地域ネットワークの推進

○個別援助活動

ひとり暮らし高齢者等の援助を必要とする方々が地域の中で安心して暮らせるよう、地区福祉委員、近隣住民等による定期的な見守り訪問援助活動等を行った。ひとり暮らし高齢者登録数：1,694人

○グループ援助活動

各地域でひとり暮らし高齢者などが地域の会館に集まり仲間づくりをするふれあいサロン等の活動を地区福祉委員会等が中心となって行った。

○世代間交流事業の推進

地域の高齢者と小学生や中学生と世代を超えた交流事業を各地域で行った。

①地区福祉委員会

○主な事業

事業名	柏西	柏東	堅北	堅中	堅南	国東	国中	国西	堅上
ひとり暮らし高齢者の会			○				○	○	
地区だより発行	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ひとり暮らし友愛訪問	○	○	○	○	○	○	○	○	○
敬老訪問	○	○	○	○	○	○	○	○	○
寝たきり高齢者友愛訪問		○				○	○	○	○
小地域ネットワーク活動	○	○	○	○	○	○	○	○	○
世代間交流	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ふれあいサロン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
子育て支援	○	○	○	○	○	○	○	○	
緊急医療情報シートの配布	○	○	○		○	○	○	○	○

○研修会

開催年月日・場所	内容	参加者
----------	----	-----

平成 31 年 2 月 13 日 大阪国際交流センター	小地域ネットワーク活動リーダー研修会 小ネットの担い手確保に関する実践に向けて	10 名
平成 31 年 3 月 4 日 阪南市尾崎小学校	地区福祉委員会役員研修会 他市の小ネットの取り組みについて	12 名
平成 31 年 3 月 18 日 リビエールホール	柏原市民間社会福祉施設連絡会フォーラム 子どもの居場所づくりのネットワークの構築	11 名

○地区福祉委員会委員長連絡会の開催

5 月 18 日、7 月 19 日、10 月 4 日、平成 31 年 1 月 24 日 計 4 回

②ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業

毎月 1 回、地区福祉委員による、ひとり暮らし高齢者宅へ粗品を持参しての見守り安否確認を実施した。また、各地域において見守り援助活動も行った。

訪問者数：のべ 16,740 名

③ひとり暮らし高齢者愛の一声訪問事業

75 歳以上のひとり暮らし高齢者の安否確認と緊急時の連絡確保を目的に、共同募金の配分金を財源とし、事業者委託により週 2 回（月・金）乳酸菌飲料を訪問配布した。

対象者数：のべ 927 名 年間配布本数：84,357 本

(3) ボランティア・市民活動センター事業の推進

ボランティア活動の普及啓発、情報提供、相談、講座、研修、活動支援を実施し、誰にでも分かりやすく、親しみやすいセンター事業の運営に努めた。

①ボランティア活動の状況

○登録状況

グループ (78 グループ)	個人登録	合計
1,627 名	11 名	1,638 名

○依頼状況

福祉関係	社協	行政機関	団体	学校	地区福祉委員会	その他	計
109 件	9 件	10 件	25 件	11 件	44 件	0 件	208 件

○ボランティア・市民活動センター会議

開催年月日	内容	参加者
平成 31 年 3 月 18 日	第 1 部 ボランティアセンター事務連絡 ボランティア保険・貸館について	27 団体 34 名
	第 2 部 ボランティア団体意見交換会 各団体 PR・ボランティア連絡会活動紹介 コラボレーション推進について	

②ボランティア講座

開催年月日	内容	参加者
平成 31 年 1 月 24 日、1 月 29 日	くらしのサポート養成講座 (2 か所) 講師：整理収納アドバイザー 唄 ふみよ 国分開催 23 名、柏原開催 35 名	58 名

③ボランティア表彰

ボランティア功労者厚生労働大臣表彰（茶美会）
大阪府社会福祉ボランティア表彰（介護予防サポーターズ）

④ボランティア相談会

毎月第2金曜日 13時30分から15時30分 健康福祉センター
相談会以外の日にも随時相談に応じた。

⑤朗読ボランティア河南ブロック代表者会議参加

開催日：11月7日（水）
場 所：東大阪市高井田元町1-2-13
内 容：7市の朗読ボランティア情報交換会、柏原より3名（事務局含む）参加

⑥柏原市ボランティア連絡会

○ボランティア連絡会代表者会議の開催 毎月1回

開催年月日・場所	内容	参加者数
9月3日 健康福祉センター	市制60周年 第19回 ボランティア展 第1部 10:00～ セレモニー 柏原市ボランティア連絡会役員及びエンジョイボラン ティア各グループ活動状況紹介 ゲスト講演 過去の災害事例から学ぶこと 株式会社タカオカ 取締役 笠井 文廣氏 第2部 12:00～ 柏原市少年少女鼓笛隊演奏 ボランティアグループによる舞台演技 登録団体による各種販売、展示、体験コーナー	200人

○各種行事への参加

開催年月日・場所	行事名	内容
11月4日 柏原市役所駐車場	市制60周年記念総合 フェスティバル	おにぎり・ジュース販売、バザーなど の出店・ステージ発表
11月18日 柏原市役所駐車場	第30回 柏原ふれあい広場	クッキー販売、クラフト体験、お茶席 などの出店・バザー・展示・ステージ 発表

○広報啓発活動

ボランティア紹介動画（パワーポイント）の制作協力及び上映支援
ボランティア連絡会だより「アゼリア」発行 年3回 部数 1,500部
フェイスブック「エンジョイボランティアかしわら」の共有

○大阪府市町村ボランティア連絡会への参加

開催年月日	内容	参加者数
5月7日	総会、講演会	3名
12月10日	テーマ別研修会	4名
平成31年2月14日	ゆめニティまつばら	4名
平成31年2月25日	代表者会議	4名
平成31年2月25日	研修交流会	4名

○柏原市ボランティア・市民活動センターLINEの立ち上げ

ボランティア団体等への連絡・調整を迅速かつ適切に行うことを目的として公
式LINEアカウントを開設。LINEの活用により、相談受付からマッチングまでの行
程において業務の効率を図ることができた。

⑦くらしのサポートサービス事業

同じ地域に住む住民同士“互いに助け合っていこう”という共助の趣旨のもと、市内各地域で事業周知とサポーター養成講座を行い会員増強に努めた。

利用料：1時間につき700円（平日9時から17時まで、それ以外は900円）

○会員数及び活動状況

会員状況			
	依頼会員数	協力会員数	内実働人数
平成29年度	346人	66人	33人
平成30年度	387人	88人	51人
純増数	41人	22人	18人

平成30年度活動実績		
依頼件数	マッチング件数	活動回数
87件	64件	2,207回

(4) 日常生活自立支援事業の推進

認知症高齢者や知的・精神障がい者などで判断能力の不十分な方に福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理及び書類保管サービスを提供した。

①相談件数

内容 事項	本事業の利用に関するもの				合計
	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神 障がい者等	不明・ その他	
a. 問い合わせ件数	22	7	3	6	38
b. 初回相談件数	19	2	3	1	25
c. 相談援助件数等 (専門員による訪問含む)	633	265	1539	0	2,437
合計	674	274	1,545	7	2,500

②平成30年度の契約者数等

対象者 内容	認知症 高齢者等	知的 障がい者等	精神障が い者等	その他	生活保護 (再掲)	合計
① 平成29年度末利用者数	13	6	29	0	25	48
② 新規契約者数	13	5	5	0	8	23
③ 契約終了者数	4	2	4	0	8	10
④ 年度末利用者数①+②-③	22	9	30	0	25	61

③訪問回数

1,445回（延べ回数） 左記の内、生活保護受給者支援回数 733回

④広報啓発活動

平成31年2月7日 虐待防止ネットワーク研修会で事業説明

(5) 生活困窮者自立支援事業

柏原市役所に生活困窮者相談窓口「らいふあっぷ」を設置し、総合生活相談として対象を広く捉え伴走支援を実施した。

①支援実績

相談のみ・他機関に繋ぐ	プラン作成	合計
73件	122件	195名

就労支援対象者	就労率	増収率
78件	53%	18%

②生活困窮者自立相談支援事業（法律相談）

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、大阪弁護士会と業務委託契約を締結し包括的かつ継続的な相談支援を実施した。

新規相談受付件数	受任件数	相談件数（述べ件数）
36件	4件	168回

③会議・研修等

○柏原市生活困窮者支援会議の新設（平成30年12月）

目的 地域共生社会の実現に向けた柏原市や関係機関との包括的な相談支援体制の整備

	内容	開催日時
1層（専門部会）	就労支援部会	平成31年2月7日
	こども若者支援部会	平成31年3月5日
	民間支援部会	平成31年3月25日
2層（定例会議）	プラン作成・モニタリング	毎週第2・4水曜日
3層（全体会議）	「地域共生社会に向けた包括的支援体制に向けて」	7月17日
	「柏原市における就労支援体制について」	10月16日
	「生活困窮者自立支援制度における地域づくりと社会資源」	平成31年2月26日

○研修会

開催年月日・場所	内容	参加者
平成31年1月31日 健康福祉センター	テーマ：「生活に困った方に地域福祉に何が出来るのか」 講師：小野 達也 氏 (大阪府立大学 人間社会システム科学研究科 教授)	72名

④柏原市子どもの学習支援事業

柏原市が開始した子どもの学習支援事業の学習補助員（学生）のコーディネーター業務を受託した。11名の学習補助員配置調整等を実施した。

(6) ファミリーサポート事業の体制強化

本事業により、育児の援助を行いたい人と、育児の援助を受けたい人を組織化し、相互援助活動に関するコーディネーター、アドバイス等を行った。

利用料：1時間につき700円（平日7時から19時まで、それ以外は800円）

○会員数及び活動状況（平成31年3月末現在）

依頼会員数	援助会員数	合計
332人	125人	457人

①実績

内 容	回 数
保育所・幼稚園の登園前の預かり	4回
保育所・幼稚園の送り	28回
保育所・幼稚園の迎え	28回
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	7回
学童の送り	114回
学童の放課後の迎え	6回
学童の放課後の預かり	4回
放課後児童クラブの迎え	5回
放課後児童クラブ終了後の預かり	0回
子どもの習い事等の援助	11回
保育所・学校等休み時の預かり	16回
施設入所前の援助	4回
病気回復期の預かり	0回
保護者の就労・求職活動中・臨時的就労の場合の援助	0回
冠婚葬祭や学校行事に伴う援助	1回
保護者等の外出の場合の援助	10回
保護者の病気、その他急用の場合の援助	0回
その他	0回
合 計	238回

②広報啓発活動

○ファミサポサロン「びよびよ」運営をほのぼのかたしもで開催（第1・第3水曜）

③講習会等

○講習会（会員対象）10回 ○交流会3回

（7）ほのぼのかたしも運営支援

地域住民で構成されたほのぼのかたしも運営委員会の地域福祉活動の自主運営を支援した。

○所在地 平野1丁目12-1

①利用実績

開所日	のべ入館者数	のべ足湯利用者数
245日	6,856名	2,232名

事業	回数	のべ利用者数
ケアカフェ	6回	80名
くらしの保健室	1回	7名
AED講習会	1回	25名
避難訓練	2回	64名

合計	10回	176名
----	-----	------

②みんな-ほのぼの食堂

地域の誰もが立ち寄り活動できる居場所づくりとして、ほのぼのかたしも事業企画・運営部会メンバーと企画実践した。

開催年月日	内容	利用者数
8月18日	みんな-ほのぼの食堂 「お好み焼をみんなで食べよう！」	29名
12月28日	みんな-ほのぼの食堂 「手作りあったかおでん」	36名

(8) 大阪府生活福祉資金貸付事業

①貸付相談件数

のべ152件

②緊急小口資金

生活困窮者世帯が緊急的かつ一時的に生計の維持が困難になった場合に、その必要な経費について小口の貸付を行い、生活困窮者自立支援事業等と連携しながら、当面の生活課題の解決と世帯の自立の支援を実施した。

貸付限度額	10万円
貸付件数	2件
貸付金額	175,000円

③大阪府生活福祉資金

国と大阪府が出資し低所得者・高齢者及び障がい者等の世帯を対象に低利で必要な資金を貸付し、安定した生活を営むために利用できる制度の活用支援を実施した。新規貸付内容

種類	件数	金額
教育支援資金	4件	2,260,000円
総合支援資金	0件	0円
生活福祉資金	1件	29,000円
合計	5件	2,289,000円

(9) 柏原市民生・児童委員協議会事務局の運営

民生児童委員の円滑な活動を支援するために、主に下記の内容を実施した。

正副会長	11回	役員会	11回
定例会	10回	(会場都合により1回中止)	
会計監事監査	平成30年5月1日		
平成30年度総会	平成30年5月10日、11月8日		

○5月21日「大阪府民生委員(方面委員)制度100周年記念大会」に委員129名(うち退任委員17名)の参加を支援した。

○7月26日「平成30年度河南ブロック合同研修会」(リビエールホール)開催を支援した。

(10) 柏原市民間社会福祉施設連絡会(地域貢献委員会)

生活支援事業をはじめとする各種事業について、法人としての協力と事務局機能を担った。

○実務担当者会議：6回 ○役員会：5回 ○定期総会：平成31年3月18日（月）

2018年度大阪しあわせネットワーク・地域貢献委員会連携推進事業

開催年月日	内容	参加
平成31年3月18日（月）	「柏原市民間社会福祉施設フォーラム」 講師：草間 吉夫氏	150名参加

(11) 第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画 中間評価の実施

関西福祉科学大学の協力を得て進捗管理委員会にて中間評価報告書を作成。

○進捗管理委員会の開催：5月30日

(12) 要援護者食料等分配支援事業の協力機関との連携

フードバンクおおさか・大阪いずみ市民生活協同組合とのそれぞれの協定に基づき、食料分配を行った。

利用期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日	利用者数	のべ57名
------	----------------------	------	-------

(13) 市制60周年第30回「柏原ふれあい広場」の開催

11月18日（日）、柏原市役所駐車場一帯で開催。選出母体・出店参加団体・一般市民等46組から協賛をいただいた。模擬店ブースは31団体が出店。中央のスペースでは公募で選んだ6団体が演目を披露し、合間には実行委員会構成団体のPRタイムを設け、各地区福祉委員会やボランティア団体・民生・児童委員の活動や取り組みが発表された。

(14) 柏原市障害者基幹相談支援センター（ピアセンターかしわら）

今年度より基幹相談支援センター運営を受託し、障害者自立支援協議会運営、障害者権利擁護サポートセンター、地域生活コーディネーター事業、一般相談支援事業を実施し、障がい者やその家族の方に対し、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための支援、ピアカウンセリング、介護相談、障がい福祉サービスの情報提供等、地域における生活支援を実施した。

① 一般相談件数

○月別件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	68	81	102	74	63	95	68	55	46	75	86	73	886

○支援方法

方法	訪問	来所	同行	電話・FAX	メール	個別支援会議	関係機関	その他
件数	107	129	11	628	30	1	26	2

○障がい別

種別	身体	知的	精神	発達障がい	高次脳機能障がい	その他
件数	33	147	535	0	0	145

*重複障がいのケースは、それぞれの障がい（知的と精神の重複の場合は「知的」及

び「精神」)に計上する。

○内容別(相談内容に含まれるものは、すべてカウント)

内容	件数	内容	件数
福祉サービスの利用などに関する	78	家計・経済に関する	75
障がいや病状の理解に関する	18	生活技術に関する	36
健康・医療に関する	92	就労に関する	23
不安の解消、情緒安定に関する	257	社会参加・余暇活動に関する	40
保育・教育に関する	1	権利擁護に関する	18
家族関係・人間関係に関する	53	その他	195

②計画相談(指定特定相談支援、障がい児相談支援、地域定着)

指定特定相談支援	障がい児相談支援	地域定着支援
155件	31件	0件

③出張相談場所の提供

八尾・柏原 障がい者就業・生活支援センター(就労相談)

毎月 第4金曜日 13時00分～17時00分

④福祉教育

○ピアカウンセラーによる出張講演(年9回)

○ピアセンター職員による出張講演(年1回)

⑤ピアカウンセラーによる相談業務(肢体・聴覚・視覚それぞれ毎月1回)

ピアセンターサロン(年1回) 障害者週間啓発(柏原駅・国分駅)

柏原市バリアフリー調査協力

⑥機関紙の発行 年1回『広報紙びあかしわら』発行

⑦広報かしわら・社協かしわら、フェイスブックによる広報活動

⑧講座の開催

開催年月日	内容	参加者
7月11日～9月26日	要約筆記奉仕員養成講座(全11回) 協力:要約筆記通訳グループ「てくてく」	4名
8月20日～9月10日	朗読ボランティア養成講座(市民向け全4回) 講師:日本話しことば協会	3名
5月7日、11月5日、 12月3日、平成31年 2月4日	朗読ボランティア養成講座(ボランティア向け4回) 講師:日本話しことば協会	3名
10月18日～12月20日	入門点訳ボランティア講座(全10回) 協力:ボランティアグループ 野いちご会	5名
平成31年1月10日～ 2月7日	パソコン点訳ボランティア講座(全5回) 協力:ボランティアグループ 野いちご会	3名

○その他 クリスマス会・パーカッションクラブ(毎月第3日曜日)

⑨啓発講座 9/21こころの健康講座開催 全1回

⑩柏原市障害者自立支援協議会の運営

障がい者の自立と社会参加の実現をめざし、関係機関のネットワークづくり、地域課題抽出から解決までのPDCAサイクルの運用、部会活動の充実に取り組んだ。

⑪車いす短期貸し出し事業

市内在住で障がいや高齢で一時的な外出に車椅子を使いたい方に短期間の貸し出

しを継続実施した。貸し出し期間：3ヶ月以内（更新可能 最長6ヶ月）

貸し出し延べ台数	144台
貸し出し理由	通院、散歩、日常生活、行事（花見、帰省等旅行）等

3 地域包括支援センター（高齢者いきいき元気センター）

（1）総合相談支援の充実

高齢者いきいき元気センターの相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談件数（延べ）		305	386	380	395	467	323	423	406	351	372	385	364	4,557
受付形態	電話	183	215	219	261	284	206	260	246	210	218	234	209	2,745
	訪問	65	116	131	98	145	85	108	99	98	89	115	120	1,269
	来所	57	55	30	36	38	32	55	61	43	65	36	35	543
相談経路	本人	49	78	94	54	75	62	88	98	64	73	76	72	883
	家族親族	96	125	93	130	136	115	126	114	117	147	125	114	1,438
	居宅介護支援専門員	67	64	46	59	61	45	85	57	34	53	38	34	643
	民生・児童委員	8	15	6	7	23	9	7	14	18	14	23	12	156
	病院・医師	26	24	20	24	48	20	24	24	49	28	16	37	340
	事業所（者）	7	20	10	13	7	13	5	12	15	6	29	41	178
	関係機関	30	32	67	42	43	22	39	48	24	29	39	21	436
	その他	5	12	25	42	44	28	32	21	15	17	21	20	282
相談内容	高齢者虐待	11	20	65	44	37	4	19	18	13	6	20	5	262
	権利擁護相談	0	3	1	0	7	14	15	4	3	11	5	14	77
	住宅改修	26	28	8	18	9	17	10	14	12	20	12	9	183
	処遇困難	15	36	63	57	46	25	39	41	29	25	22	35	433
	介護支援専門員支援相談	15	25	18	16	17	18	31	21	13	18	16	19	227
	介護保険申請代行	47	53	47	35	34	45	40	56	61	77	48	44	587
	介護保険関係（在宅）	114	142	140	147	192	136	168	131	132	132	126	127	1,687
	介護保険関係（施設）	0	1	5	2	3	2	4	9	8	11	8	1	54
	ケア会議	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	2	6
	経済支援	2	3	12	8	8	3	5	5	0	0	0	2	48
	サービス担当者会議	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	その他	122	131	135	148	195	121	203	194	159	168	185	179	1,940

（2）権利擁護事業

障がい者虐待防止センターと合同で各事業を実施した。

①高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議

開催年月日・場所	内容	参加者
10月30日 健康福祉センター	協議事項：柏原市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク研修会について 報告事項：高齢者・障害者虐待実績報告、対応事例報告	20名

②柏原市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議 研修会

開催年月日・場所	内容	参加者
平成 31 年 2 月 7 日 健康福祉センター	柏原市内の介護保険事業所・障害事業所を対象に研修を開催 「高齢者・障害者虐待への支援及び対応について」 講師：関西福祉科学大学 小口 将典准教授	45 名

③虐待防止連携会議

柏原市役所、障がい者虐待防止センター、高齢者いきいき元気センターにより月 1 回会議を行い、ネットワークに関することや虐待事例について検討した。

(3) 継続的、包括的マネジメント

①介護保険事業所研修会

開催年月日・場所	内容	参加者
7 月 26 日 健康福祉センター	自立支援に向けた介護予防ケアマネジメントについて	介護保険事業所 関係者計 47 名

②医療・介護連携研究会の開催

開催年月日・場所	内容	参加者
11 月 22 日 健康福祉センター	市立柏原病院における入退院支援についてグループワーク、各団体からの情報提供	医療・介護関係者 54 名
平成 31 年 2 月 21 日 健康福祉センター	「藤・ネット」の利用について 「柏原市おたすけガイドブック」の活用について、グループワーク 各団体からの情報提供	医療・介護関係者 43 名

③医療・介護連携検討会(いかしてネットかしわら)の開催

開催年月日・場所	検討内容
11 月 22 日 健康福祉センター	平成 29・30 年度運営状況について、研修会の感想、医師会・介護支援専門員協会アンケートについて
平成 31 年 2 月 21 日 健康福祉センター	平成 31 年度運営について 研修会の感想

④地域ケア個別会議の開催

開催年月日	地域包括支援センター以外の参加者
7 月 5 日	介護支援専門員、主治医、訪問介護事業所、日常生活自立支援事業専門員、見守り専門員、市役所高齢介護課
9 月 25 日	CSW、民生委員、見守り専門員、市役所高齢介護課
11 月 9 日	本人、介護支援専門員、訪問看護師、障害相談員、地区民生委員、見守り専門員、市役所高齢介護課
平成 31 年 1 月 22 日	民生委員、ランチ、見守り専門員、市役所高齢介護課
平成 31 年 3 月 28 日	ランチ、見守り専門員、市役所高齢介護課
平成 31 年 3 月 29 日	民生委員、見守り専門員、市役所高齢介護課、

⑤認知症対応型共同生活介護・地域密着型通所介護運営推進会議参加状況

事業所名（認知症対応型共同生活介護）	回数

グループホームローズガーデン	2回
グループホーム神田イン国分	6回
グループホーム柏原	6回
グループホームここから柏原	4回
グループホームかがやき	6回
地域密着型高齢者施設太寿	5回
ういるグループホーム柏原	6回
グループホームはくとう	1回
小規模多機能型ホームエブリー柏原国分	4回

事業所名（地域密着型通所介護）	回数
でいる一む・かがやき	1回
デイサービスステーション四葉	2回
リップジョイかしわら	1回

⑥四市（柏原市・羽曳野市・松原市・藤井寺市）地域包括支援センター懇談会

開催年月日	場所	検討内容
8月1日	松原市役所	・生活支援コーディネーターとの連携 ・介護予防や社会参加に関わる介護保険外の社会資源
平成31年2月19日	健康福祉センター	・予防プランの評価の考え方 ・4市合同懇談会のあり方

⑦地域包括支援センターランチ連携会議の開催

開催年月日・場所	検討内容
5月28日 健康福祉センター	・平成30年度事業計画の確認、市からの連絡事項
9月28日 健康福祉センター	・相談実績報告 ・柏原ふれあい広場の出店 ・啓発活動及び虐待防止ネットワーク参加について
平成31年3月22日 健康福祉センター	・ランチからの相談状況報告 ・平成30年度活動報告及び平成31年度活動計画（案、）等

⑧地域あんしん事業

一人暮らし台帳登録をされている高齢者のうち希望される方や見守りの必要な方の訪問事業で、平成30年度は柏原地区485名、堅下地区509名、国分・堅上地区483名の計1,477名の見守り訪問や情報収集により状態把握を行った。見守り検討委員会には民生委員の参加もあり、情報・対応の共有、関係者間の連携が図れた。

○見守り検討委員会（エリア会議）

柏原地区 12回開催

堅下地区 12回開催

国分・堅上地区 12回開催

○民生・児童委員協議会との意見交換会実施 計8地区

（4）介護予防ケアマネジメントの実施

要支援1.2と認定された方に介護予防サービス計画の作成・調整を行った。

高齢者いきいき元気センター	居宅介護支援事業所（委託件数）
3,251 件	3,669 件

（５）認知症高齢者への地域支援の推進

「認知症になっても 安心して暮らせるまち」を目指して、「認知症サポーター養成講座の開催」を行い、その活動を支援した。

- 認知症サポーター養成講座開催回数 20 回
- 養成人数 725 名

（６）認知症地域支援推進員配置事業

認知症の相談窓口の強化、市民への認知症についての啓発、医療・介護・地域とのネットワーク作りを通して、「認知症になっても、安心して暮らせるまち」を目指した。

- 相談件数 延べ301回
- 認知症啓発出張講座 12回 462人
- 地域サロン等への訪問 延べ119ヶ所
- 介護事業所等への訪問 延べ 76ヶ所
- 病院・診療所等への訪問 延べ 22ヶ所
- 認知症カフェ
 - カフェほのぼの（問屋場亭） 開催数21回 延べ参加者266人
 - カフェいどばた（ふれあい館オガタ） 開催数 7回 延べ参加者 68人

（７）家族介護支援事業

①介護者教室

健康福祉センター、国分図書館にて実施した。（全2回）

開催年月日 場所	内容	参加者
平成31年2月13日 健康福祉センター	「転ばぬ先の予備知識」福祉用具編 適切な福祉用具の選び方・使い方について 実践を交えて知る講座	20名
平成31年2月14日 国分図書館		14名

②認知症家族介護者の会「いどばた」の開催

定例会は10回（内7回はカフェいどばた）、第2火曜日に開催。認知症当事者の家族同士の情報交換が行えた。また、相談に対しては専門職が対応した。6/13は地域密着型サービス事業所連絡会（グループホーム連絡会）主催（認知症キャラバンによる講義、柏原羽曳野藤井寺消防組合からの講義）で実施した。

（８）介護用品（おむつ）支給事業

在宅でおむつを使用している高齢者及び重度障がい者に紙おむつを現物支給することによって、家庭における経済的、精神的負担の軽減を図った。

対象	支給額	延べ利用者数	助成金額	財源
高齢者（介護度3以上、非課税世帯）	1ヶ月あたり5,000円を限度	471人	2,193,426円	柏原市
障がい者（療育手帳判定A、身体障害者）	1ヶ月あたり3,500円を限度	359人	1,188,666円	共同募金配分金

手帳1、2級、精神障害者保健福祉手帳1、2級)				
-------------------------	--	--	--	--

(9) 生活支援体制整備事業

- 高齢者の生活支援サービスを担う事業主体と連携を図り、日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図ることを目的に実施した。
- 社会資源を活用しての支援体制を整えやすいように、柏原市内の社会資源情報紙「おたすけガイドブック(VOL.4)」を作成した。
 - 地域あんしん事業意見交換会を民生・児童委員を交え実施し、地域の居場所の資源情報について情報の把握・共有を行った。
- 実施地区：柏原東、堅下北、堅下中、堅下南、国分東、国分中、国分西、堅上
(柏原西地区については前年度に実施済み)

4 介護予防事業

(1) 地域リハビリテーション活動支援の推進

65歳以上の高齢者が特に運動機能面の維持、向上を目指し、要介護状態等になることを予防するためにリハビリテーションの専門職と地域包括支援センターが連携しながら介護予防の推進を行なった。訪問型リハビリテーションを実施し、居宅まで訪問しリハビリ専門職からの自立にむけた介護予防プログラムの提案や実施を行った。

○いきいき百歳体操講座

開催回数	22回
開催場所	健康福祉センター
参加実人数	60人
参加のべ人数	359人

○はじめてのいきいき百歳体操教室

開催回数	12回
開催場所	国分合同会館
参加実人数	60人
参加のべ人数	65人

○リハビリ・介護予防に関する相談件数 37件

○訪問型リハビリテーション実施回数 27回

(2) 地域介護予防活動支援の充実

総合事業の一般介護予防事業の住民主体の居場所づくりに向けて、柏原市いきいき百歳体操を中心としたサロン立ち上げへの取り組みとして出前講座を実施した。また、介護予防を目的とした地域サロンの立ち上げ支援を行った。

①地域サロンでの柏原市いきいき百歳体操実施状況

新規立ち上げ数	15団体
地域サロン総数	43団体

②地域介護予防推進員の養成講座の開催

要介護状態にならないように介護予防と健康・生きがいつくりの啓発を行い、

その活動のリーダーとなる人を養成するための講座を開催した。

開催年月日	項目	講師
6月12日 健康福祉センター	・地域介護予防推進員とは ・介護予防について ・介護予防推進員の活動	柏原市社会福祉協議会 保健師 市民ボランティア団体
6月19日 健康福祉センター	・認知症サポーター養成講座 ・レクリエーション講座	認知症地域支援推進員 市民ボランティア団体
6月26日 健康福祉センター	・口腔機能講座	歯科衛生士
7月3日 健康福祉センター	・栄養講座 ・ボランティア活動について	柏原市高齢介護課 管理栄養士 柏原市社会福祉協議会 ボランティアセンター
7月10日 健康福祉センター	・柏原市いきいき百歳体操 ・地域介護予防サロン	柏原市社会福祉協議会 理学療法士
9月11日 健康福祉センター	・認知症について 質問会	柏原市医師会 会長

③地域介護予防サロンの活動支援

地域で実施する介護予防講座等の開催の相談・指導等を行い、その活動を支援した。

○地域介護予防教室 (介護予防サポーターズ運営含む)

教室名	開催場所	開催回数	のべ参加数	内容
いきいきサロン	健康福祉センター	12回	920人	音楽活動, 健康講話
いきいきサロン若返り	市民交流ひろば 今町老人会館	12回	432人	運動指導士による運動
旭ヶ丘 3,4 丁目サロン	旭ヶ丘 3,4 丁目会館	21回	708人	音楽活動等
物忘れ予防サロン	健康福祉センター	12回	592人	簡単算数、パズル等
敬寿会サロン	円明老人会館	11回	237人	運動指導士による運動
青谷サロン	堅上コミュニティ会館	12回	180人	健康講話とラジオ体操
木曜会	本郷会館(新館)	11回	101人	運動指導士による運動
ふれあいの家ほのぼの	ふれあいの家ほのぼの	34回	544人	音楽活動、健康講話 脳トレ、体操等
あすなろサロン	旭ヶ丘 3 丁目第 1 区会館	18回	257人	健康講座、音楽レク等 柏原市いきいき百歳体操
いきいき元気古町サロン	柏原南コミュニティ会館	23回	355人	健康講話、認知症レク等 柏原市いきいき百歳体操

5 高齢者支援事業

(1) 老人クラブ連合会活動支援

おおむね 60 歳以上の高齢者の心身の健康の保持に資するための教養講座、レクリエーションその他教養・健康増進活動のために高齢者が自主的かつ積極的に参加することができることを目的とした事業を実施し、その支援を行った。

老人クラブ単位数	会員数
59 クラブ	3,260 人

○活動内容

各単位クラブ補助金申請手続	4 月
総会	5 月 17 日
シルバーヘルススポーツ講習会	5 月～10 月 (全 5 回) *参加 95 名 (延べ)
シニア大学	6 月～11 月 (全 10 回) *参加 618 名 (延べ)
高齢者福祉大会 リビエールホール (大ホール)	9 月 17 日
高齢者演芸大会 リビエールホール (小ホール)	11 月 8 日

○大阪府老人クラブ連合会各種事業への参加

(2) 在宅高齢者・障がい者給食サービス

食事作りが困難な在宅の高齢者や重度障がい者に対して、栄養のバランスのとれた食事の定期的な提供を通じて栄養改善による健康の維持、疾病の予防を図るとともに、配食時に安否確認などを行うことにより、高齢者等の在宅生活を支援することを目的としてサービスを提供した。

○月曜日～金曜日の毎日、ボランティアが中心となって調理し、個別に配食。

年間延配食数	8,307 食	年間利用実人員	77 人
年間配食日数	243 日	独居高齢者	65 人
高齢者配食数	7,850 食	高齢者のみ世帯	9 人
障がい者配食数	457 食	昼間独居高齢者	3 人
		障がい者	3 人

調理ボランティア数	70 人	配食ボランティア数	20 人
-----------	------	-----------	------

○視察研修会 5 月 26 日 (京都八つ橋工房、41 名参加)

○調理ボランティア班長会議 6 回開催

6 介護保険等事業

サービスの質の向上と経営基盤の強化を目的に各事業を展開してきたが、今後の具体的な事業方針を打ち出すため、「介護保険・障害福祉サービス事業あり方検討委員会」設置し検討を重ねた。次年度以降の方針等、検討結果について中間報告書に集約した。

委員会の開催	(5 月 23 日、10 月 31 日、3 月 15 日) 計 3 回
事務局会議の開催	介護保険事業 (6 月 27 日、9 月 5 日、2 月 20 日) 計 3 回 障害福祉サービス事業 (7 月 10 日、9 月 6 日、2 月 20 日) 計 3 回

(1) 居宅介護支援事業所ケアプランかしわら

平成30年度の介護保険法改正及び報酬改定に対応できるように勉強会の開催、医療機関との連携等を実施し、ケアマネジャーの資質向上に努めた。加算については利用者への周知を図り取得に努めた。主任介護支援専門員の配置により、介護支援専門員実務研修生を受け入れ、特定事業所としての継続も実施した。また、介護支援専門員協会との事例検討会（11月、3月に実施）の開催に準備段階より関わり参加を行った。

○職員体制（平成31年3月末現在）

	常勤	非常勤	常勤換算 5.6名
管理者兼主任介護支援専門員	1名		
介護支援専門員	3名	2名	

○介護度別利用状況（平成30年3月末現在）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
3	4	62	32	18	17	8	144人

○要介護認定調査

他市町からの委託分	合計 14件
-----------	--------

○各加算件数

特定事業所加算Ⅱ	初回加算	医療連携加算	退院退所加算
1,714	34	74	27

○新規相談件数

合計 53件

家族・本人	病院関係	地域包括支援センター	その他
20	6	18	9

○外部研修

研修内容	人数
人権	1名
医療連携	6名
障がい	0名
虐待	1名
介護支援専門員研修	0名
その他	7名
計	15名

○アンケート調査

実施期間	配布数	回収数	回収率
9月～10月	128	122	95.3

○ヒヤリハット報告件数 3件

○ホームページの更新（アンケート集計結果の報告等）

○介護支援専門員実務研修実習受け入れ 3名

（2）居宅介護支援事業所ケアプランこくぶ

特定事業所として主任介護支援専門員を配置し、平成30年度は特定事業所加算（Ⅲ）を取得した。平成30年度制度改正、報酬改定に伴い、特に「入退院支援」を円滑に行えるよう、医療機関など多機関との連携を重点的に実施した。また、地域包括支援センターブランチの一つ「ブランチこくぶ」としては、国分地区の地域住民を中心に相談があり、必要に応じて関係機関と連携を図りながら介護保険制度だけにとどまらない柔軟な相談対応を心がけ実践した。

○職員体制

	常勤	非常勤
管理者	1名	
主任介護支援専門員	1名	2名
介護支援専門員	1名	1名

常勤換算 4.5名

○介護度別利用状況（平成31年3月末現在）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
10	9	58	33	13	11	13	147人

○要介護認定調査

他市町からの委託分	合計 13件
-----------	--------

○各加算件数

特定事業所加算Ⅲ	初回加算	医療連携加算	退院退所加算
1502	46	76	30

○外部研修

研修内容	人数
人権	6名
医療連携	6名
虐待	1名
介護支援専門員研修	5名
その他	1名
計	19名

○アンケート調査

実施期間	配布数	回収数	回収率
9月～10月	135	115	85.2%

○地域包括支援センターブランチこくぶ 相談受付件数

本人	家族・親族	介護支援専門員	民生委員	合 計 85件
11	32	0	4	
病院・医師	事業所	地域包括支援センター等 関係機関	その他	
7	9	21	1	

○介護支援専門員実務研修実習受け入れ 6名

○事故報告 4件、苦情報告 0件

(3) 訪問看護ステーションかしわら

介護保険法・健康保険法による指定を受けたステーションとして、医療的支援が必要な利用者や、がん末期患者、神経難病患者、重度障がい者等に看護サービスを行った。また、緊急時訪問看護加算(医療では24時間対応体制加算)を算定できる体制を維持し、療養者が安心して在宅生活を送れるようかかりつけ医と連携を図りながら支援した。

○職員体制(平成31年3月末現在)

	常勤	非常勤
管理者	1名	0名
看護師	4名	3名
理学療法士	1名	4名

○介護度別利用状況（平成31年3月末現在）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中	合計
1	4	12	9	8	2	11	0	47人

○医療保険利用状況（平成30年度延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
後期高齢	2	2	1	2	2	1	2	2	3	3	3	4	27人
医療保険	6	5	4	5	5	4	4	5	4	4	5	6	57人

○月別利用状況

介護保険請求対象者（延べ回数。但し、理学療法士の訪問は、20分毎に1回カウント）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
631	703	626	666	668	592	685	652	582	570	570	574	7,519回

医療保険対象者（延べ回数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
84	50	39	52	65	40	61	63	59	66	69	102	750回

○研修・視察等

研修内容	人数
人権	1名
医療連携	5名
専門職関係	9名
虐待関係	1名
その他	2名
合計	18名

○主な会議の出席状況

内容	回数
大阪府訪問看護ステーション協議会中河内ブロック役員会	5回
地域連携ネットワーク	1回
柏原市看看護連携会	4回
合計	10回

○アンケート調査

	実施期間	配布数	回収数	回収率
継続利用者	平成30年10月1日 ～11月30日	54	51	94%

○ヒヤリハット報告 2件、事故報告 4件、苦情報告 0件

○ホームページの更新、訪問看護通信の発行

訪問看護の取り組みやトピックスを「ほのぼの通信」として利用者・関係機関に向けて年2回発行し、合わせてホームページも年2回更新した。

○実習生の受け入れ

関西看護専門学校実習生 15名

大阪保健福祉専門学校 看護通信教育科過程実習生 4名

（４）ヘルパーステーションかしわら

介護保険・障がい福祉サービスともに、利用者の意欲向上・やりがい・自信を持ち続けていただけるよう、自立支援に重点をおいた支援を継続している結果、介護保険

利用者の内5名が自立され、訪問介護の利用を卒業された。こくぶ事業所と連携をとり、事業運営や援助に関する情報共有を密に行うことで、運営の方向性を統一強化できた。また、人材育成に重点をおき、サービス提供責任者の後任の育成やミニ研修・講師による研修会の実施で職員の知識と技術の向上に努めた。

○職員体制

	資格	常勤	非常勤	登録ヘルパー
管理者(サ責兼務)	介護福祉士	1名		
サービス提供責任者 訪問事業責任者	介護福祉士	2名	2名	
訪問介護員	介護福祉士	0名	2名	17名 (内4名こくぶ兼務)
	ヘルパー2級	0名	0名	9名
	初任者研修	0名	0名	3名

介護福祉士資格取得率64.8%

○介護保険法ヘルパー派遣事業

要介護・要支援の認定を受けた高齢者にサービスを提供

○介護度別利用者状況(平成31年3月末現在)

総合事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	14	19	28	12	2	5	3	83名

○障がい者総合支援法ヘルパー派遣事業

「居宅介護」「重度訪問介護」「同行援護」、柏原市地域生活支援事業に基づいた「移動支援サービス」のサービスを提供

○障がい者の利用者状況(平成31年3月末現在)

居宅介護	重度訪問介護	同行援護	移動支援	合計
38	2	7	6	53名

○柏原市育児支援家庭訪問事業受託実績

柏原市からの受託事業として、産後8週間以内の産婦に対してサービスを提供
利用状況・・・5件(利用合計時間:31時間20分)

○ヒヤリハット報告 4件

分類項目(服薬管理:1件 技術的問題:1件 車両運転:1件 事務関係:1件)

○事故、苦情報告 14件

分類項目(物損:6件 利用者対応:1件 技術的問題:3件 事務関係:3件
交通事故(接触)1件)

○アンケート調査(福祉事業課合同で実施)

実施期間	配布数	回収数	回収率
10月～11月	78	74	95%

○外部研修

研修内容	人数(名)
人権	6
感染症・食中毒	2
障がい関係	1
認知症	1

○内部ミニ研修(参加数35名)

	研修内容
4月	法令遵守、個人情報の保護
6月	食中毒・感染症
7月	熱中症について
8月	災害について(災害訓練含む)

医療関係	10
虐待	1
その他	1
合計	22

9月	認知症について
10月	虐待について
2月	全体研修（排泄ケアについて）

(5) ヘルパーステーションこくぶ

平成29年4月よりヘルパーステーションこくぶを開設し、ご利用者様や関係機関から周知されるようになった。また、介護保険・障がいサービスともに、ご家族様との関わりや多機関との連携を密にし、利用者の自己決定を尊重しながら、住み慣れた家で過ごしていただけるよう支援した。全体研修（かしわら・こくぶ合同）では外部より講師を招き知識の向上に努めた。かしわら事務所と連携を図り情報共有する事で自立支援の方向性等を統一できた。

○職員体制

	資格	常勤	非常勤	登録ヘルパー
管理者	介護福祉士	1名		
サービス提供責任者 訪問事業責任者	介護福祉士	1名	2名	
訪問介護員	介護福祉士	0名	2名	14名 (内9名かしわら兼務)
	ヘルパー2級	0名	0名	8名
	初任者研修	0名	0名	1名

介護福祉士資格取得率65.5%

○介護保険法ヘルパー派遣事業

要介護・要支援の認定を受けた高齢者にサービスを提供

○介護度別利用者状況（平成31年3月末現在）

総合事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
	10	6	7	7	5	2	4	41名

○障がい者総合支援法ヘルパー派遣事業

「居宅介護」「重度訪問介護」「同行援護」、柏原市地域生活支援事業に基づき、「移動支援サービス」のサービスを提供

○障がい者の利用者状況（平成31年3月末現在）

居宅介護	重度訪問介護	同行援護	移動支援	合計
24	1	5	6	36名

○柏原市育児支援家庭訪問事業受託実績

柏原市からの受託事業として、産後8週間以内の産婦に対してサービスを提供
利用状況・・・2件（利用合計時間：15時間05分）

○アンケート調査

実施期間	配布数	回収数	回収率
10月～11月	44	38	86.4%

○外部研修

研修内容	人数（名）
人権	4
障がい関係	1
虐待	1

○内部ミニ研修（参加数19名）

	研修内容
4月	法令遵守、個人情報保護
6月	食中毒・感染症
8月	災害について（災害訓練含む）

その他 (医療・介護技術等)	3
合計	9

9月	認知症について
10月	虐待について
2月	全体研修(グループワーク)

7 障がい者支援・福祉サービス事業(自立支援センター)

障害福祉サービスわくわく 生活介護・児童発達支援にて福祉介護職員処遇改善加算Ⅴを取得し、経営の安定を図った。また、就労継続支援B型では、試行的に行っていた祝日開所を平成30年1月より本格実施し、利用人数増に努めた。

(1) 肢体不自由児訓練事業

運動発達に障がいや遅れなどのある児童に運動能力の改善として機能訓練を行い、保護者には日常生活のなかで活かせるように指導を提供した。

○在籍児 2名 (平成31年3月末現在)

乳児	幼児	小学生	中学生	高校生
0人	1人	0人	0人	1人

○利用状況

開室日数	21日		
利用人数	延べ16人		
	内訳	機能訓練	延べ 16人
		相談	延べ 0人
		診察	延べ 0人

*機能訓練：月1回を原則に個別に60分間、理学療法士による運動機能訓練を基本に行う。

*診察：嘱託医による定期診察…年1回行う。(希望時)

*相談：随時(入所相談等)

(2) 柏原市療育教室

目的：療育が必要なおおむね2歳～4歳の幼児とその保護者を支援する教室

自立支援センターでの保育

それぞれの幼児の発達段階や障がいの違い(身体的・知的)に応じてより細やかな療育に取り組めるように2つのグループに分けて保育を行った。

うさぎグループ (1,2歳児中心、親子同室保育)

ぱんだグループ (2,3歳児、一部親子分離保育)

感覚あそび、散歩、運動遊び、水遊び、製作などに取り組んだ。また、季節に応じた行事を実施。助言や他機関との連絡調整を行った。

○月別利用状況(児童数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ぱんだ	80	106	119	103	105	89	123	117	108	113	127	129	1,319
うさぎ	23	32	42	28	31	28	37	41	40	50	45	60	457
合計	103	138	161	131	136	117	160	158	148	163	172	189	1,776
日数	17	21	22	21	20	17	23	21	19	19	19	17	236

(3) 障害福祉サービスわくわく（生活介護）

開所日	利用定員	事業の目的
月～金 祝日含む	12人	利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った自立の促進、生活の向上を図る。
開所日数	のべ利用者数	活動内容
254日	1,730人	個別の機能訓練・作業、集団体操・レクリエーション、生産活動,外出、誕生日会、季節の行事の開催

契約者数18名（内新規契約者6名）平成31年3月31日現在

○生産活動（自主製品）の実施 ※生産活動実施者 11名 総支払工賃 16,334 円/年

○作業班の開始 生活介護で就 B と同じ作業ができるようになり、希望者のみ 1 時間程度実施。※作業班参加者 2 名 総支払工賃 1,457 円/年（平成 30 年 11 月開始）

○籐工芸・手芸・ハーモニカ・その他のボランティアに月 1 回程度定期的に来所していただき、継続的に利用者との交流を行った。

○誕生日会を実施。内容については職員の出し物やボランティアに協力を得た。

○就労継続支援B型と共同で柏原市内公立中学校2か所(3名)職業体験受け入れ。

(4) 障害福祉サービスわくわく（就労継続支援B型）

開所日	利用定員	事業の目的
月～金 祝日含む	28人	利用者が地域との関わりを持ち、働くことに生きる喜びを感じながら、生活の向上、自立を図ることを目的とする。
開所日数	のべ利用者数	作業内容
254日	4,794人	帯つけ、ラベル貼り、袋詰め等内職作業（5社契約中）

契約者数24名（内新規契約者1名）平成31年3月31日現在

○生活介護と共有フロアを増やし、多機能型として相互の利用者の交流を促進した。

○市内他事業所の行事に模擬店を出店。

高井田苑：高井田苑祭り

○柏原市作業所連絡会主催の文化祭・ボウリング大会に参加。

(5) 障害福祉サービスわくわく（児童発達支援）

開所日	利用定員	事業の目的
月～金 祝日除く	10人	利用者が日常生活における基本動作および知識技能を習得し、ならびに集団生活に適応することができるよう適切な指導及び訓練を行う。
開所日数	のべ利用者数	活動内容
244日	1,033人	昼食(持参の弁当)の介助を行う。咀嚼や飲み込みのトレーニングをする。午睡をとらせ生活リズムを整える。個々の児童に適したコミュニケーション方法を使うための援助を行う。小集団での遊びを通して社会性を身に着ける。

契約者数28名（内新規契約者6名）平成31年3月31日現在